

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	千葉大学
タ イ プ	B - I I
構 想 名	大陸間デザイン教育プログラム (CODE Program)

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b style="font-size: 2em;">S</b>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	<p>本プログラムは、米国（デザイン経営）、欧州（デザイン振興）、日本（デザイン技術）の3つの異なるデザイン教育プログラムを有する大学が協働して世界的に活躍できるグローバルなデザイナーを育成することを目的としており、目指している人材像はデザインの力を利用して、社会に貢献するとともに新産業を創成できる人材である。</p> <p>日欧米3地域の大学の協働教育プログラムに参加する海外相手大学は、当初7校であったが、現在13校に拡大したことによって、派遣学生数及び受入学生数も増大し、当初計画どおり順調に進展、拡大している。また、企業連携のプログラムを開始するとともに、内容の充実が図られており、交流のための活動が積極的に行われている。</p> <p>外国人教員2名、アマヌエシス（留学事務の専門職員）2名を採用して、日本人学生の派遣、外国人学生の受入を綿密な体制でサポートしている。また、インターンシップを積極的に推進することで、就職につながっているケースがあり、高く評価できる。</p> <p>日本人学生の英語力は、派遣時と帰国時を比較すると、TOEICの平均点が著しく向上しており、成果が認められる。</p> <p>また、本プログラムに係るホームページや印刷物を英語で作成するとともに、これまでの成果を英語で公開して積極的な情報発信を行っている。</p> <p>他大学からの3年次編入や大学院入学の場合等、プログラム参加学生の種々の状況に応じた柔軟な育成スケジュールを設定することで、他大学からの学生に対しても本プログラムへの参加を積極的に推進している。また、本プログラムで開発された、学部早期卒業による学部3.5年（7セメスター）＋修士2.5年（5セメスター）というB7M5プログラムの教育モデルを工学部全体に展開しようとしている点は期待が持てる。</p>